

2021年度（令和3年度）全国学力・学習状況調査の結果分析（中学国語）

学校名 逗子市立沼間中学校

調査結果の概要及び教科の課題等（○良かった点や特徴ある点等 ●課題や改善点等）

<p>結果の概要</p>	<p>○県、全国平均より学校平均が高い結果が出ている。全体として国語の学習に対して、粘り強く取り組める生徒が多いので、そのような取り組みが成果となって表れていると考える。</p> <p>●「読む能力」（読解力）が他の能力より低く、高める必要がある。</p>
<p>話すこと 聞くこと</p>	<p>○全ての能力のなかで一番高い。日ごろから、生徒たちが主体的に意見交流（自分の考えや思いを説明したり、相手の考えや思いをよく聞いたりしている）している結果であると考えられる。</p>
<p>書くこと</p>	<p>○日ごろからノートづくり作文などの学習活動を通じて、相手意識をもつこと、より良い表現を目指すことを意識して指導を行っているので、それが成果となっているところもある。</p>
<p>読むこと</p>	<p>●日ごろの授業でも音読をさせると、意外と読めず理解できていない言葉の多さに気づく。大まかに内容をつかむことができても、前後関係が正確に把握できていないなどのことがあるので、出題者の意図をくんで解答する力をつける指導、支援が必要である。</p>
<p>伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項</p>	<p>○日ごろから辞書を繰ったり、教科書以外の古典作品を読んだりするなどして語彙を豊かにし、正しく文法について理解しようとしている生徒は多いので、それが成果となっているところもある。</p>
<p>生徒質問紙 国語に関する質問</p>	<p>全体として、生徒たち自身は知識を活用して、よりよく国語を理解しようとしていることがわかる。生徒たち自身も「読むこと」に対する苦手意識がうかがえるので、改善を図りたい。</p>

2021年度（令和3年度）全国学力・学習状況調査の結果分析（中学数学）

学校名 逗子市立沼間中学校

調査結果の概要及び教科の課題等（○良かった点や特徴ある点等 ●課題や改善点等）

結果の概要	<p>○全体正答率また、どの領域、どの観点を見ても県、全国平均を上回った。</p> <p>●県、全国平均を上回ったものの数学的見方・考え方については課題がある。どの領域を見ても数学的に表現することに対しての力を高めていく必要があると考える。</p>
数と式	<p>○技能の観点では、基礎基本的な四則演算処理が身につけている生徒が多いと考えられる。</p> <p>○見方考え方の観点では、考察の対象を明確にし、目的に応じて式変形や意味の読み取り、事柄の成り立つ理由などの説明が高かった。文章読解力やその意図を捉えて簡単な説明をする力があると考えられる。</p> <p>●見方考え方の観点で、数学的な結果を事象に即して解釈し、事柄の特徴を数学的に説明することについては、課題がある。読み解くところから数学的に表現していく力をつけていく必要があると考える。</p>
図形	<p>○知識理解の観点では、扇形の中心角と弧の長さや面積との関係について理解している生徒が多い。一年時の内容なので、日頃からの復習など、学力の定着がうかがえる。</p> <p>●見方考え方の観点では、平行四辺形になるための条件を用いて四角形が平行四辺形になることの理由を説明する、ある条件の下で、いつでも成り立つ図形の性質を見だし、それを数学的に表現する内容に課題がある。数と式同様数学的に表現していく力をつけていく必要があると考える。</p>
関数	<p>○知識理解の観点では、与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取る内容で、式・グラフ・表の関連がしっかりと理解できていると考える。</p> <p>●知識理解の観点で、関数の意味を理解している内容では課題がある。意味の定着を図っていく必要があると考える。</p> <p>●見方考え方の観点では、事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明する内容に課題がある。</p>
データの活用	<p>○知識理解・技能の観点で、代表値の理解、ヒストグラムからある階級の度数の読み取りが高かった。基礎的な定着は図れていると考える。</p> <p>●知識理解の観点で、相対度数の必要性和意味の理解の内容では、少し踏み込んだ内容についてはもう少し理解を深めていく必要があると考える。</p> <p>●見方考え方の観点では、データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することの内容について数学的に表現することに課題があると同時に、1年生での既習内容について復習する必要がある。</p>
生徒質問紙 数学に関する質問 問○～○	<p>○県、全国平均と比べると説明する問題に対して、最後まで解答を書こうとする生徒の割合が多い。粘り強く最後まであきらめない生徒が多いと考える。</p> <p>●県、全国平均と比べると数学が好き、大切、授業がわかる、将来役立つと感じている生徒の割合が低い。数学の必要性や楽しさを見いだせるような工夫が必要である。</p>

全国学力学習状況調査 生徒質問紙の分析

●特徴的なことや課題と考えられること等

質問のうち、神奈川県（公立）と全国（公立）と比べて、特にポイントが高かったのは、以下の質問番号であった。

- ・(5)「普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか」
- ・(13)「学校に行くのは楽しいと思いますか」
- ・(15)「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか」
- ・(26)「1・2年生のときに受けた授業で、コンピュータなどのICT機器をどの程度使用しましたか」
- ・(27)「あなたは学校で、コンピュータなどのICT機器を、他の生徒と意見を交換したり、調べたりするために、どの程度使用していますか」
- ・(34)「1、2年生のときに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめたり、思いや考えをもとに新しいものを作り出したりする活動を行っていましたか」
- ・(40)「あなたの学校では、学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めますか」
- ・(47)「国語の授業では、言葉の特徴や使い方についての知識を理解したり使ったりしていますか」
- ・(51)「今回の国語の問題では、解答を文章で書く問題がありました。それらの問題についてどのように解答しましたか」
- ・(61)「英語の勉強は好きですか」
- ・(62)「1・2年生のときに受けた英語の授業では、英語で話したり書いたりして、自分自身の考えや気持ちを伝え合うことができていましたか」
- ・(63)「これまで、学校の授業やそのための学習以外で、日常的に英語を使う機会が十分にありましたか（地域の人や外国にいる人と英語で話す、英語で手紙や電子メールを書く、英語のテレビやホームページを見る、英会話教室に通うなど）」

これらから、以下のようなことが特徴として伺える。

- ・普段からテレビゲームやコンピュータ、ICT機器を使用したり活用したりしていることがわかる。GIGAスクール構想に関わって「情報端末」が導入される以前から、逗子市はプロジェクタを用いた授業を展開するなど、授業においてICT機器を使用する頻度が多かった。加えて、導入以後も、教科授業や総合的な学習の時間で情報端末を使用する機会が多く、例えば、調べ学習や意見発表のツールとして、有効に活用できている。
- ・国語や英語の授業では、書いたり、考えたり、自分の意見をまとめたり、それらを発表する機会が多く、この機会を生かし前向きに学習へ向かう姿勢が養われている。地域の特徴として就学・学習に熱心で、英語教育に力を入れ、英語と触れる、取り組む機会が多いことが伺われる。
- ・学校に行くこと、学校生活に肯定的な思いを持っている生徒、特に自分と他者の意見を交換することを楽しさを感じている生徒が多い。これは、教科授業や学級活動、行事の中で、自分の考えや意見をまとめ、それを他者と意見交換をし、色々な考えと自己を調整することにより、コミュニケーション能力が育成できているからだと思われる。

質問のうち、ポイントが低かったのは、以下の質問番号であった。

- ・(2)「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」
- ・(3)「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」

- ・(12)「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」
- ・(20)「学習塾の先生や家庭教師の先生に教わってしますか(インターネットを通じて教わっている場合も含む)」
- ・(21)「学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)」
- ・(46)「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」
- ・(53)「数学の勉強は大切だと思いますか」
- ・(54)「数学の授業の内容はよく分かりますか」
- ・(56)「数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」
- ・(57)「数学の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか」
- ・(58)「数学の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか」
- ・(59)「数学の授業で問題や考え方が分かるようにノートに書いていますか」
- ・(66)「新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、規則正しい生活を送っていましたか」
- ・(68)「解答時間は十分でしたか(国語)」
- ・(69)「解答時間は十分でしたか(数学)」

これらから、以下のようなことが特徴や課題として挙げられる。

・日常生活について、規則正しくできていない、できない傾向が見られる。これは、夜間の学習塾や習い事などにより、夕食や学習、その他の時間の過ごし方・使い方が曜日などによって不規則で、その結果、就寝・起床時刻が不規則になることが伺える。新型コロナウイルスによる休校期間中などの不定期な生活状態では、より生活習慣が不規則になってしまうようであった。

・地域的には就学・学習に熱心であり、放課中に、学校の教員以外に教わる機会も多い。このように、学習時間も高いが、将来に直結した希望や学習への意欲は高くないようである。目の前の学習や課題には熱心取り組むが、それを将来や自分の進路選択に結びつけよりよい想像を持つ力は強くないようである。授業や学級活動などの場面で、将来や進路選択につなげ考える機会を意識的に増やしていきたい。また、解答時間が十分でなかったことから、目の前の課題には意欲をもって取り組むことはできるが、全体を考え包括的に物事に取り組む力がさらに求められる。

・数学に対して苦手意識を持つ生徒が多いように思う。普段の授業では、自ら問題に向き合い、前向きに取り組む姿が見られているが、一度持った苦手意識はなかなか払拭できないのかもしれない。

・読書や新聞を読んでいる数が少なかった。電子媒体を活用している生徒もいるかもしれないが、紙面の文字に触れている機会は確実に少ないと思われる。学校図書の貸し出しについて、多く本を借りている生徒もいるが、特定の生徒に限られているようである。

授業内で、ICT機器をうまく活用したり、自分の意見や考えを発表し、他者の意見や考えも取り入れることはよくできているようである。普段の学校生活も肯定的に感じ、登校や学習にも前向きであると言える。

他方、基本的な生活習慣を自己で遂行する力を養っていくことが必要である。中学生も忙しく自由な時間がない中で、より有効な時間の使い方を身につけることも必要である。また、目の前のことを実行していく力があるので、それを自分の進路選択につなげ、将来に希望を持てるような気質を育てていく必要もある。